

「渡る世間は鬼ばかり」でご存知、橋田壽賀子名作劇場

橋田 壽賀子 / 原作・脚本
菊村 禮 / 補綴
石井 ふく子 / 演出

不朽の名作

おしん

少女編

ナレーション / 奈良岡 朋子

あなたの暖かい涙で
おしんを応援して下さい。

平成二十一年 全国特別公演

日本中を泣かせます。



音無美紀子

加賀屋くに
淡島 千景

齊藤 暁

勝野 洋

佐々木麻緒
おしん(ダブルキャスト)
諸星すみれ

佐藤 輝

清太郎
堤 大二郎

伊藤みどり

小泉まち子

小宮 健吾

舞台「おしん少女編」
酒田公演

2009 平成21年 12月 1日

Tuesday (火) 開場 午後5時45分 開演 午後6時30分
会場 酒田市民会館「希望ホール」 酒田出身の小山典子さんが、方言指導をしています。

入場料金 [全席指定]
S席 6,000円、A席 4,000円、B席 2,500円、
A席・B席 (小学生～大学生) 1,000円

チケット発売日 平成21年9月5日(土) 午前10時より
発売当日は、お一人様4枚までとさせていただきます。

未就学児の入場はご遠慮ください。当日は託児を行いますので、11月23日(月)まで希望ホールへ申込みください(子ども1人につき500円)。
プレイガイド
酒田市民会館「希望ホール」、中合清水屋、みずほ八文字屋、八文字屋エビスヤ店(鶴岡)
主催 希望ホール自主事業企画運営委員会、酒田市、酒田市教育委員会 後援 山形県
お問い合わせ 酒田市民会館「希望ホール」 山形県酒田市本町二丁目2番10号
〒998-0043 tel.0234-26-5450 fax.0234-26-5452

希望ホールホームページアドレス

URL <http://www.kibou-hall.sakata.yamagata.jp>

平成二十一年
全国特別公演

橋田 壽賀子 / 原作・脚本

菊村 禮 / 補綴

石井 ふく子 / 演出

おしん

少女編

今だからこそ、「おしん」――。

どんな逆境の中にあってもしっかりと大地に足をつけて一歩ずつ成長していくおしん。

今回の舞台化では、奉公に出されたおしんが、様々な出会いや別れを通して成長する子供時代を、装いも新たに丹念に描き出していきます。

人を信じ、そして、耐え忍ぶ。

“豊かな”時代に生きる私たちに、本当に大切なものは何かをおしんは優しく語りかけます。

解説

「おしん」は昭和58年から翌年にかけてNHK朝の連続テレビ小説として放送され、平均視聴率52.6%、最高視聴率62.9%と当時空前のブームを巻き起こしました。貧しさと闘い、様々な試練に負けず、懸命に生きるおしんの姿は日本をはじめ世界各国で人々の共感を呼び、今日まで世界63ヶ国で放送され、大きな反響を呼んでおります。

舞台化はテレビ放送の翌年に橋田壽賀子作、石井ふく子演出によって初演されて以来定評を得て、今回はさらに練り上げ、豪華出演者により満を持して少女編として登場いたします。永遠に語り継がれる不朽の名作「おしん」にどうぞご期待ください。



物語

明治四十年春、山形の最上川上流にある小さな村から一人の少女が奉公にでることになった。少女の名はおしん。七才の少女にとって父作造、母ふじとの別れは辛かったが家族のため、気丈にもおしんは筏に乗って村を出ていった。

やがて、新たな奉公先が酒田の米問屋加賀屋に決まる。懸命に働くおしんが、そこで出会ったのが加賀屋の娘加代だった。ある日、おしんは加代と喧嘩になり、加代を突き飛ばしてしまふ、その窮状をかばってくれたのは加代の祖母にだった。この喧嘩をきっかけに加代とおしんは仲良くなり、ほんとうの姉妹のように育てられていくことになった。

演出 盛田 光一
美術 古賀 宏一
衣装 金子 賢一
照明 室伏 大
音楽 石井 心
効果音 坂本 晃
舞台監督 森本 義
制作 平野 進
松本 康久
本村 景恵
吉村 理恵
名倉 正典
後藤 大介
伊藤 喜久雄
作画 松竹株式会社
制作 アイエス

